

# 鵜殿ヨシ原保全の取り組み

国土交通省 近畿地方整備局  
淀川河川事務所 河川環境課  
令和5年10月25日

1. 鵜殿ヨシ原について
2. 鵜殿ヨシ原保全の取り組み
3. 高水敷切下げ対策について
4. 調査概要
5. 調査結果

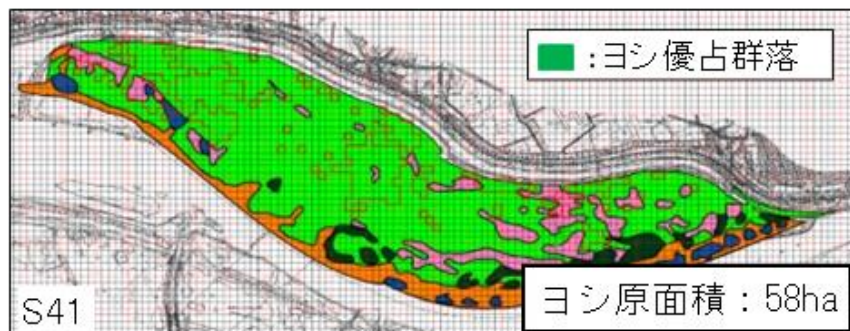
# 1. 鵜殿ヨシ原について



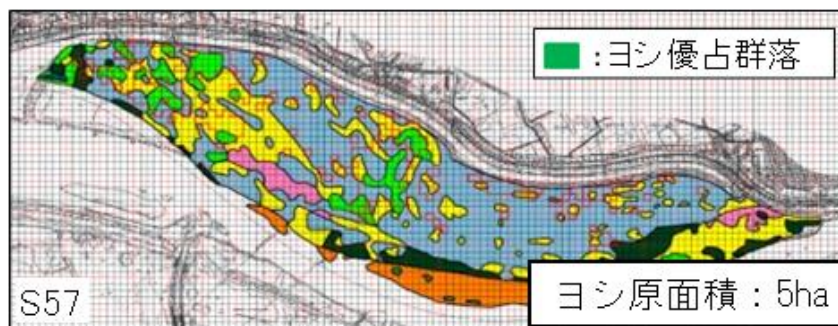
# 1. 鶴殿ヨシ原について



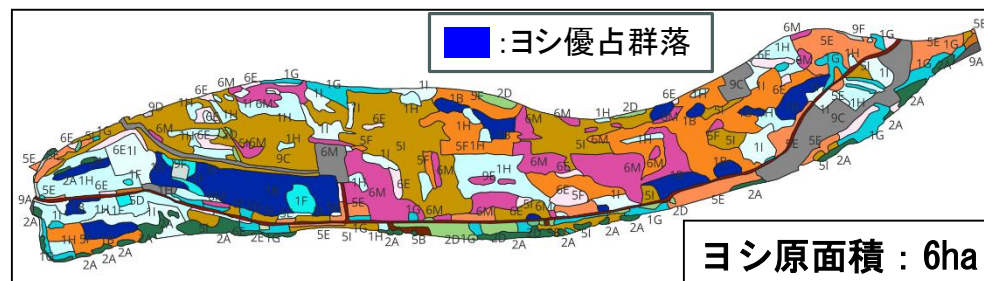
# 1. 鵜殿ヨシ原について



昭和41年には**58ha**あった  
ヨシ原が昭和57年には**5ha**  
まで減少



令和4年  
**6ha**まで回復



# 1. 鶺鴒ヨシ原について

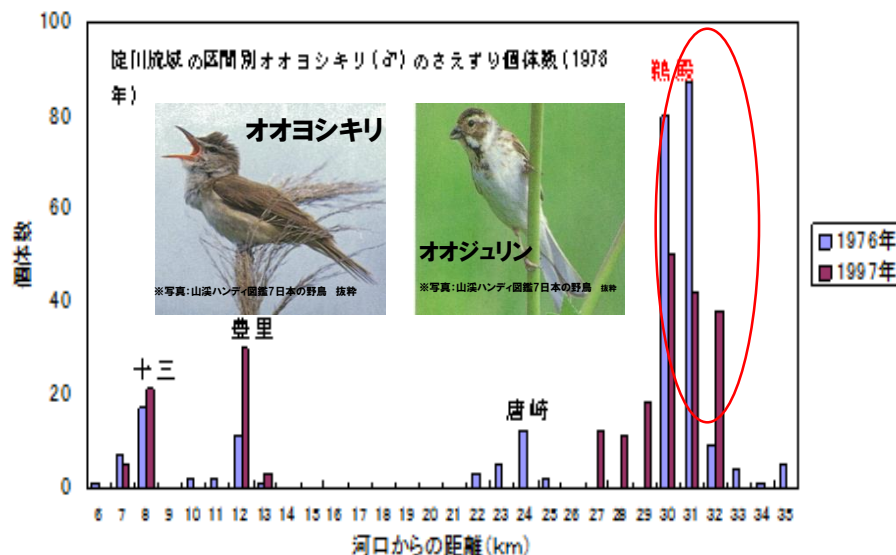
## 【雅楽】

良質なヨシは雅楽器「ひちりき(箏篋)」のろぜつ(蘆舌:リード部分)に使用



## 【生態学】

オオヨシキリ・オオジュリンの繁殖地やツバメの埒(ねぐら)



## 【ヨシ焼き】



### 環境的効果

- ・春に植物の芽生える機会の創出
- ・樹林化の防止、草原の確保

### 文化的効果

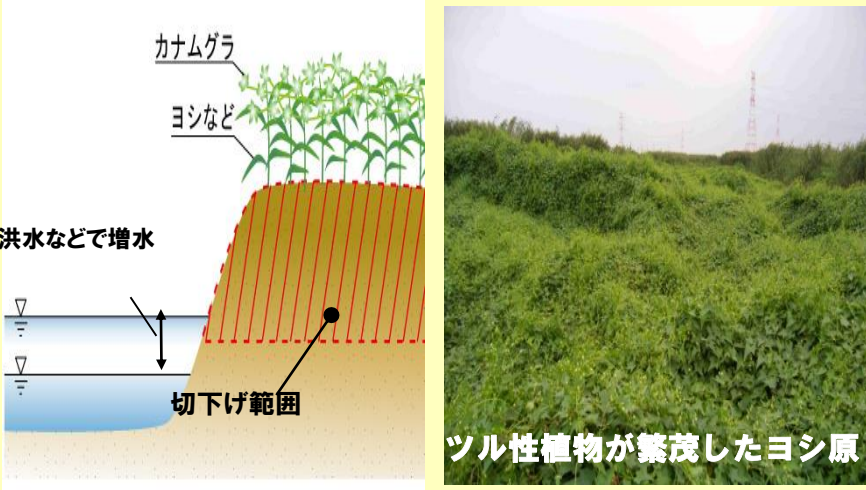
- ・春の訪れを告げる伝統文化行事
- ・市民や写真愛好家が集うコミュニティ形成の場 6

# 2. 鵜殿ヨシ原保全の取り組み

## ① 高水敷切下げ対策

鵜殿ヨシ原復元の基本的な対策として位置づけ、切下げを行った際に根茎の移植を行い、ヨシ原を復元する対策

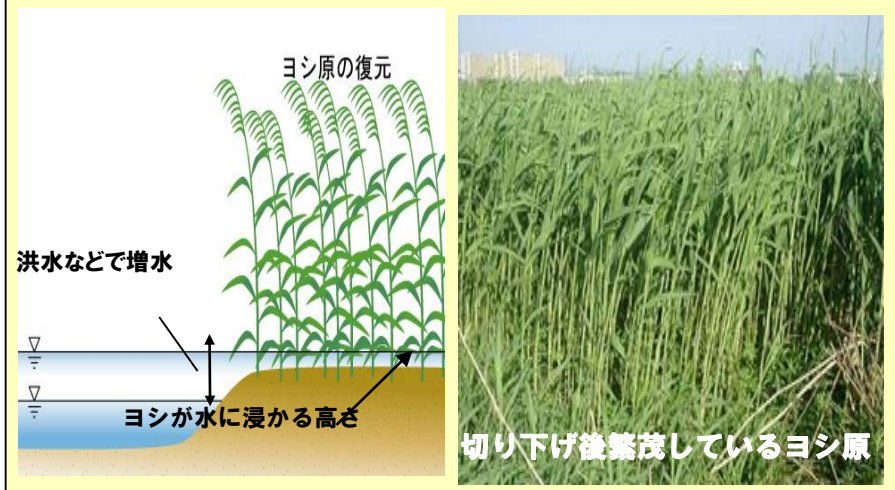
**整備前** 高水敷の干陸化によりカナムグラなどの陸生植物が繁殖し、ヨシ原が減少



ツル性植物が繁茂したヨシ原



**整備後** ヨシ原の復元を図り、オオヨシキリやツバメなどの生物の生息・生育・繁殖環境の創出



切り下げ後繁茂しているヨシ原

## ② 導水路による配水対策

現状のヨシ原を揚水ポンプにて配水することによりヨシ原の保全を図る対策



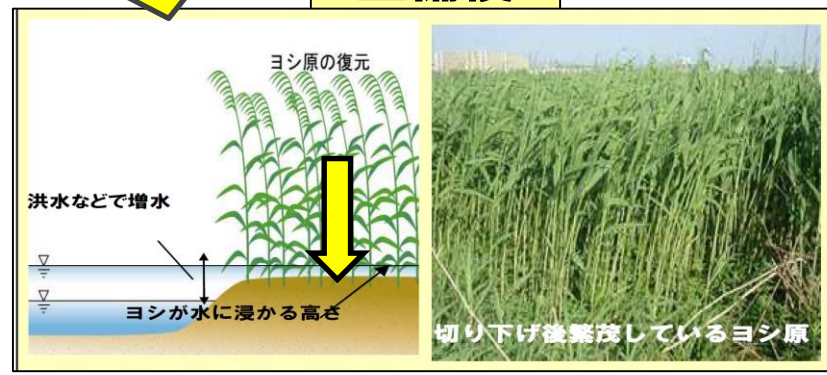
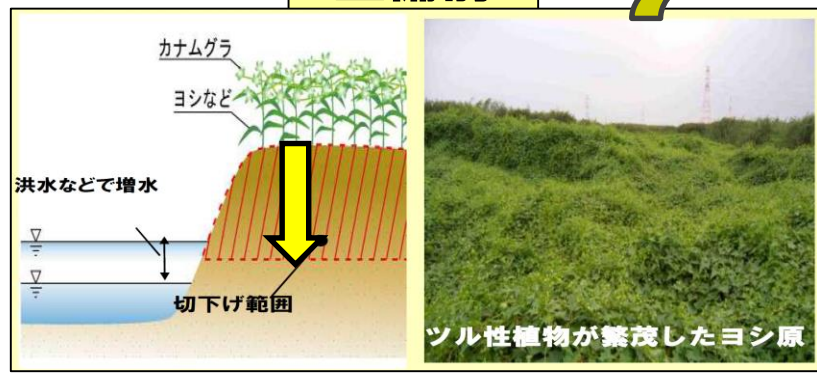
# ① 高水敷切下げ対策

## 河川敷を切り下げ、ヨシ原を水辺に近づける



整備前

整備後





# ②導水路による配水対策

揚水ポンプで水を汲み上げ、導水路に流す



導水路 (導水時)



揚水ポンプ (取水口)

# 3.高水敷切下げ対策について

## ●評価対象地点



**評価対象地点は、令和4年時点で切下げ工事が実施されて10～13年経過した切下げ地J, K1, K2, L, Mの5箇所**

# 4.調査概要

## ①植生分布調査

調査時期：令和4年の春季(5月)、秋季(10月)

航空写真の判読により、概略植生図を作成。

概略植生図をもとに現地での相観及び優占種区分により相観植生図を作成。

## ②群落組成調査

調査時期：令和4年の秋季(10月)

切下げ地毎に5枠の調査枠を設置し、群落組成調査を実施。

希少種が存在する場合には、+等の記号のほかに個体数を記録。

## ③植生回復調査・ヨシ生育調査

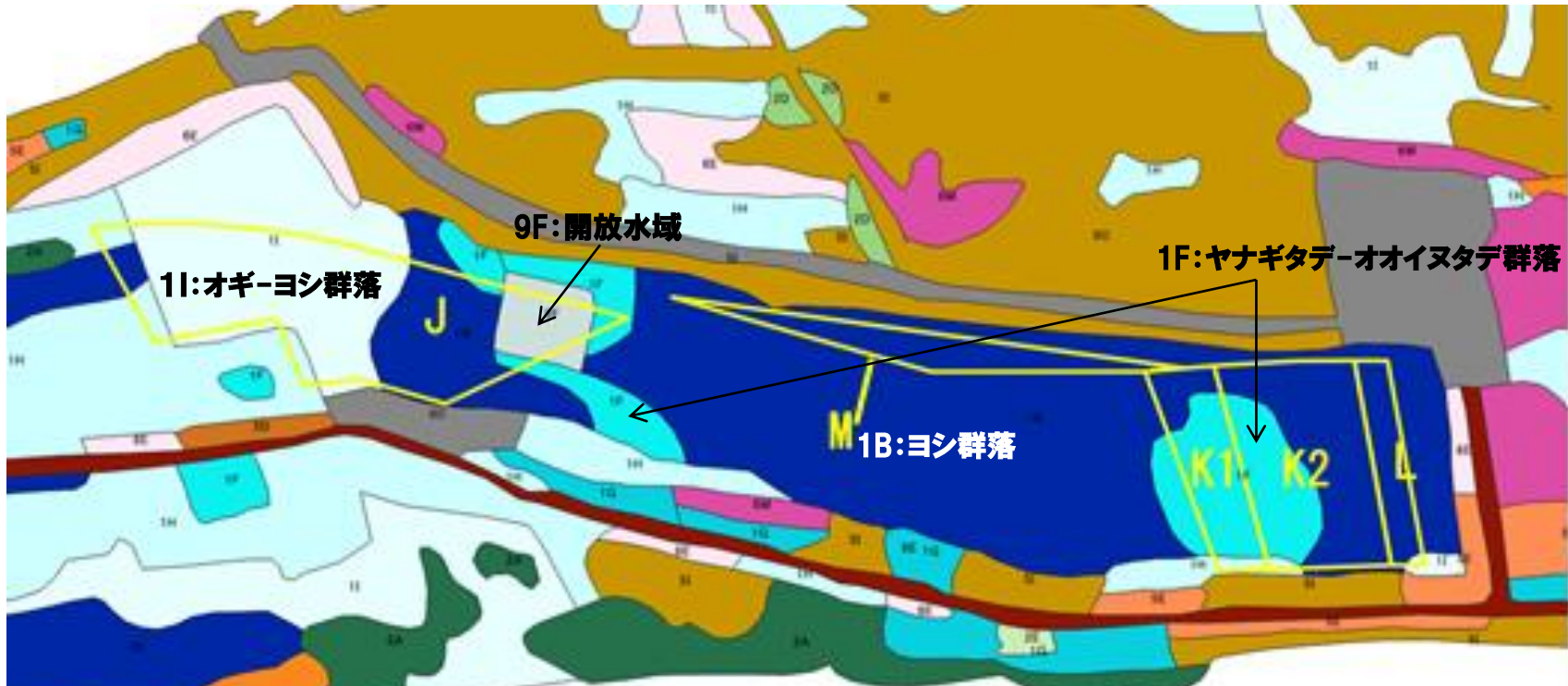
調査時期：令和元年の秋季(10月)

ヨシ群落と判定できる箇所に1m×1mの方形区(それぞれの切下げ地で10枠程度)を設け、ヨシについて穂の有無の確認と本数・草丈・莖径(3節目下)について計測。オギが生育する場合は本数を調査。

# 5.調査結果

## ①植生分布調査

### ●2022(令和4)年(秋季)切下げ地の植生図



番号	群落名称	番号	群落名称	番号	群落名称
1B	ヨシ群落	5E	クズ群落	6F	シナダレスズメガヤ群落
1D	イークサヨシ群落	5F	カナムグラ-ヨシ群落	6G	ネズミムギ群落
1E	ミコシガヤ-アゼナルコ群落	5G	ヤエムグラ-イシミカワ群落	6I	ヒメムカシヨモギ群落
1F	ヤナギタデ-オオイヌタデ群落	5H	イタドリ-クサマオ群落	6J	アレチウリ群落
1G	セイタカヨシ群落	5I	カナムグラ群落	6M	オオブタクサ群落
1H	オギ群落	5J	イヌビエ-クサネム群落	6N	セイバンモロコシ群落
1I	オギ-ヨシ群落	5K	ゴキツル群落	6O	イタチハギ群落
1J	ヒメガマ群落	5L	ツルマメ群落	8A	緑化工地
1k	カズノコグサ群落	5M	オオクサキビ群落	8B	シバ植栽地
2A	ジャヤナギ-アカメヤナギ群落	5N	メヒシバ-エノログサ群落	9A	自然裸地
2C	エノキ-センダン群落	5P	ヤブガラシ群落	9B	刈り跡
2D	トウグワ群落	5Q	カナムグラ-オギ群落	9C	人工裸地
2E	シンジュ群落	6A	オオスズメノカタビラ群落	9D	人工構造物
5B	ノイバラ群落	6B	シロツメクサ-ヤハズソウ群落	9E	道
5C	ハナウド群落	6C	カラシナ群落	9F	開放水域
5D	ヨモギ-メドハギ群落	6E	セイタカワダチソウ群落		

# 5.調査結果

## ● 群落面積の経年変化

### 切下げ地J

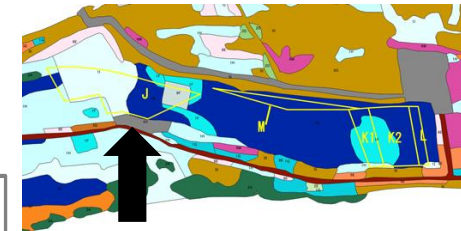
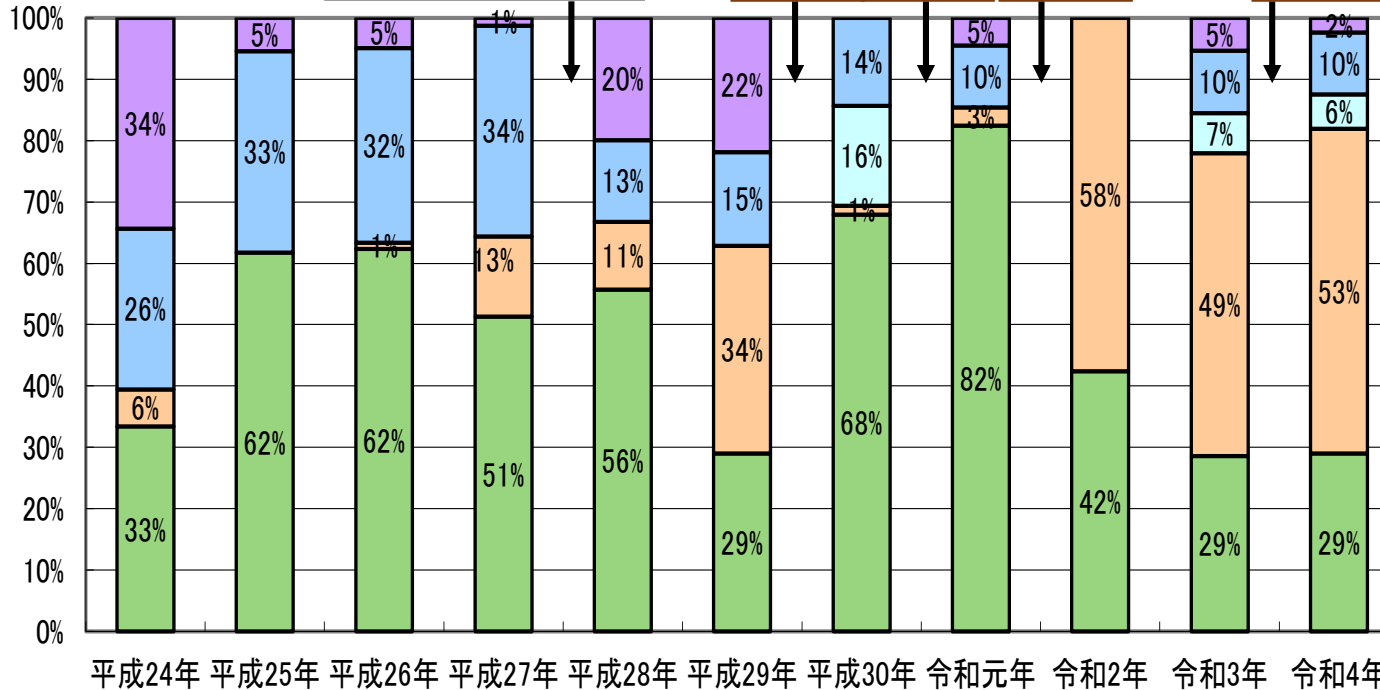
H28.2切下げ地I（水路）  
再掘削

H30.2  
ヨシ焼き

H31.1  
刈り倒し

R2.1  
刈り倒し

R4.1  
刈り倒し



切下げ地J

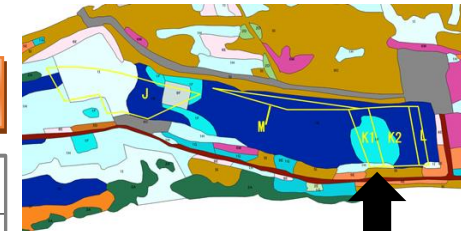
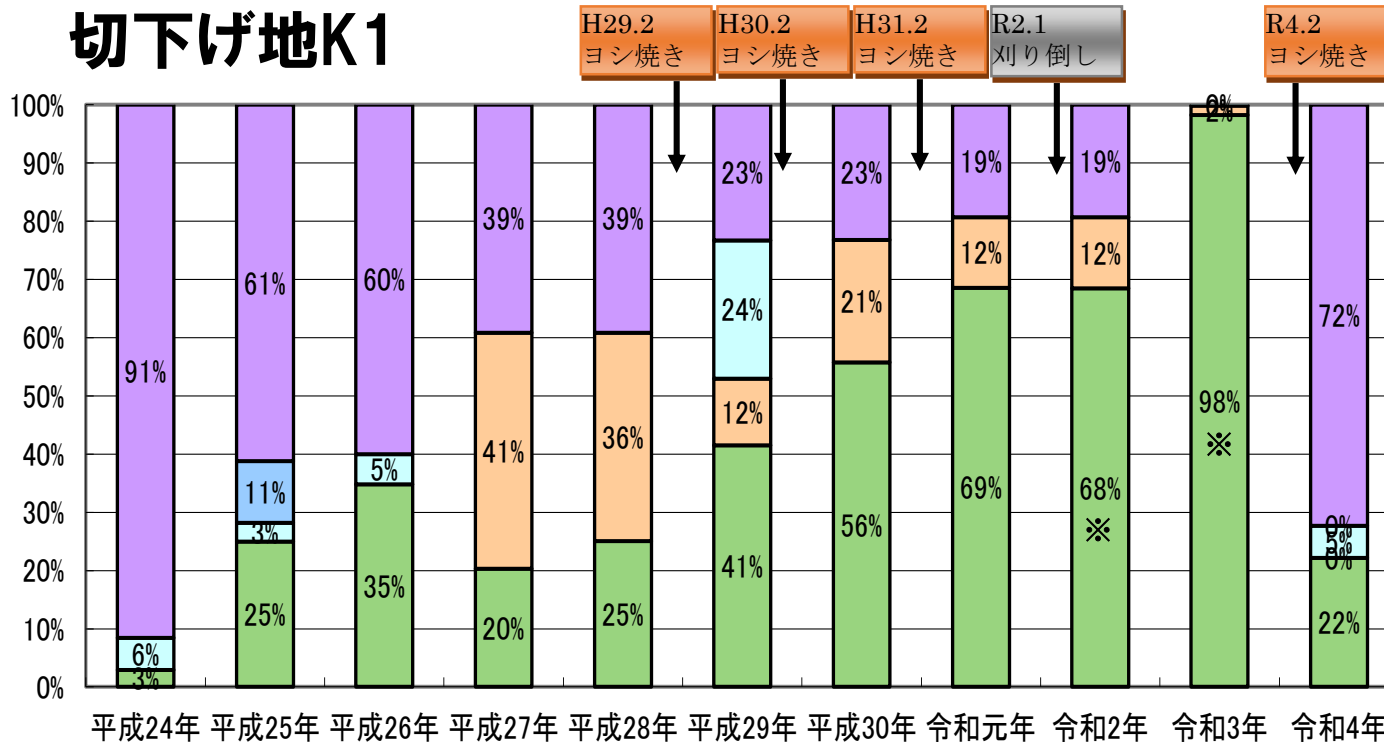
- その他
- 開放水域
- オギ群落
- オギ-ヨシ群落
- ヨシ群落

・近年、全体として、ヨシ群落が衰退してオギ-ヨシ群落が優占する傾向が見られる。  
 ・令和4年のその他の群落は、ヤナギタデ-オオイヌタデ群落であった。

# 5. 調査結果

## ● 群落面積の経年変化

### 切下げ地K1



切下げ地K1

- その他
- 開放水域
- オギ群落
- オギヨシ群落
- ヨシ群落

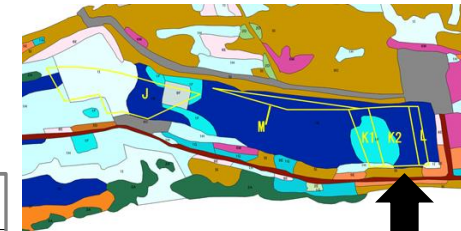
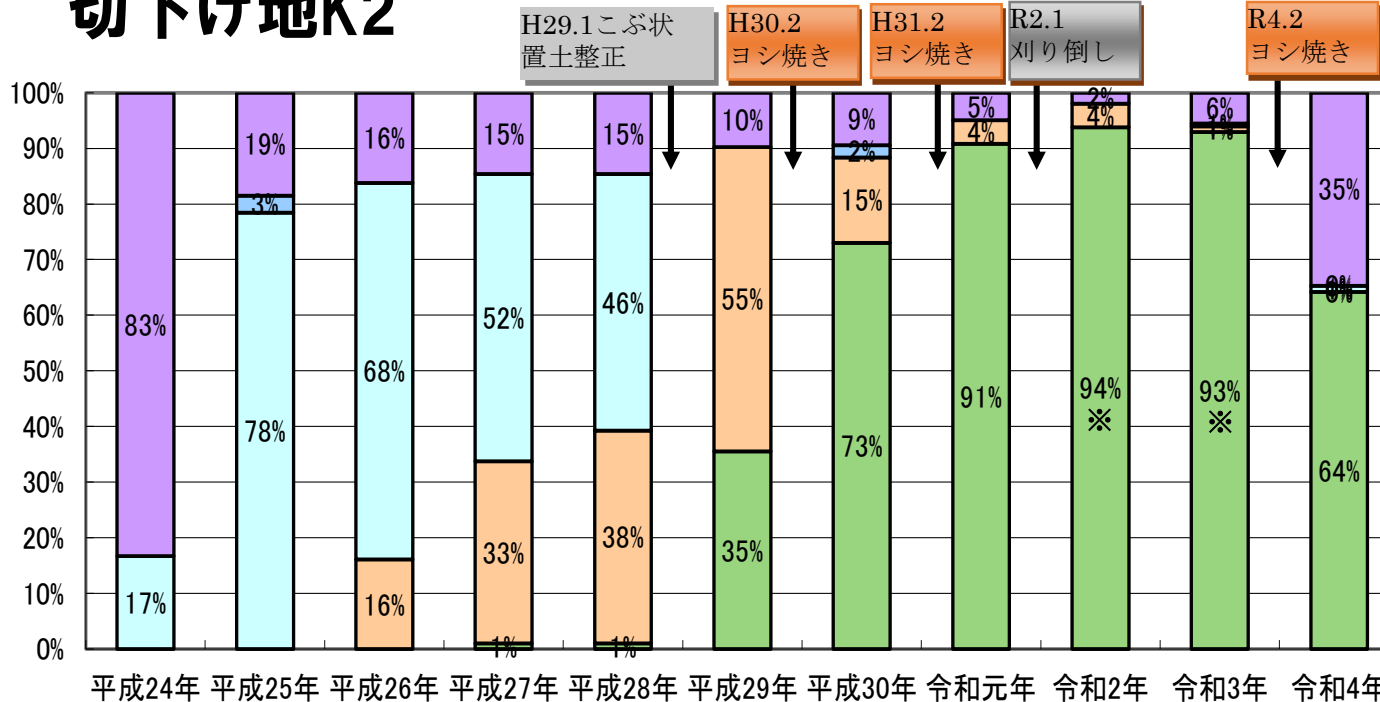
※令和2年、令和3年は、堆積したヨシの枯死体被覆面を含む。

- 平成29年以降、ヨシ群落は大きく増加した。
- 令和2年、令和3年に切下げ地K1付近においてヨシの枯死体が堆積していた。
- 令和4年2月に堆積していたヨシの枯死体が焼けて、ヨシの枯死体が堆積していた場所は一旦裸地が形成されて、その後にその他の群落(ヤナギタデ-オオイヌタデ群落)が侵入し、切下げ地K1の群落の構成割合が大きく変わった。

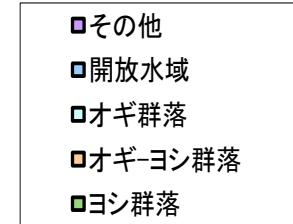
# 5.調査結果

## ●群落面積の経年変化

### 切下げ地K2



切下げ地K2



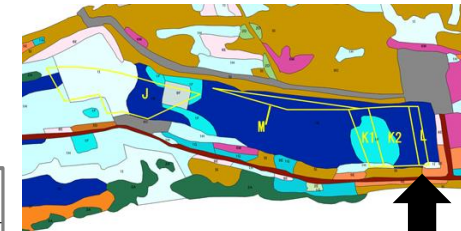
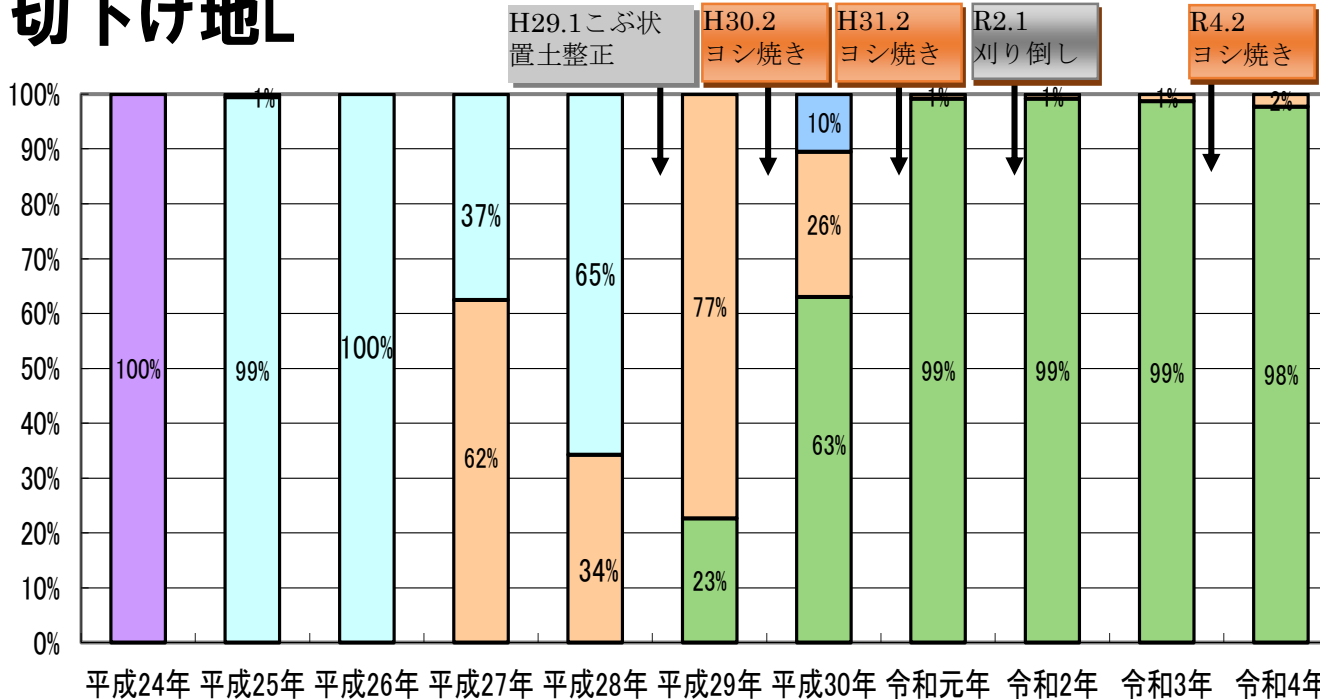
※令和2年、令和3年は、堆積したヨシの枯死体被覆面を含む。

- 平成26年～平成29年まで、オギ-ヨシ群落は拡大傾向が見られたものの、平成30年度以降に減少した。
- 平成29年以降、ヨシ群落は拡大傾向が見られる。
- 全体として、オギが衰退してヨシが優占する傾向が見られる。
- 令和4年にその他の群落(ヤナギタデ-オオイヌタデ群落)が大きく増加した。(令和4年にその他の群落(ヤナギタデ-オオイヌタデ群落)が増加した要因はK1と同様。)

# 5. 調査結果

## ● 群落面積の経年変化

### 切下げ地L



切下げ地L

- その他
- 開放水域
- オギ群落
- オギ-ヨシ群落
- ヨシ群落

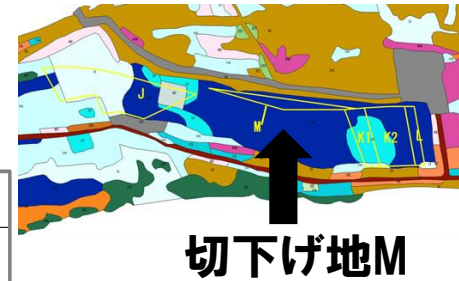
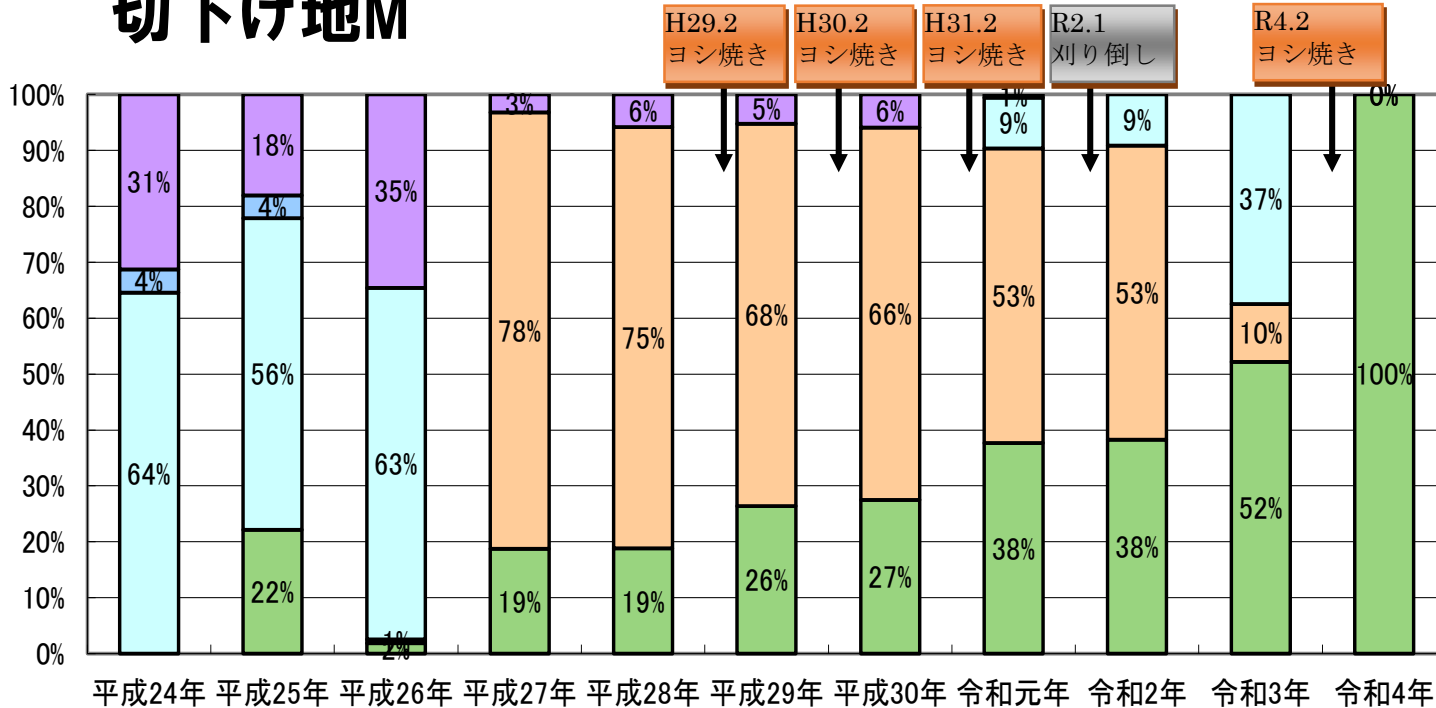
- 平成29年以降、ヨシ群落は大きく増加している。
- オギ群落は平成29年以降確認されていない。また、オギ-ヨシ群落は平成30年以降に大きく減少。
- 全体として、オギが衰退してヨシが優占する傾向が見られる。



# 5.調査結果

## ● 群落面積の経年変化

### 切下げ地M



- その他
- 開放水域
- オギ群落
- オギ-ヨシ群落
- ヨシ群落

- ・平成27年にヨシ群落とオギ-ヨシ群落の2群落を合わせた面積が大きく増加。
- ・ヨシ群落は平成27年以降に徐々に増加している。
- ・オギ-ヨシ群落は平成29年以降に減少傾向にある。

# 5.調査結果

## ①植生分布調査

- ・各地区とも概ねヨシ群落、オギ-ヨシ群落に遷移した。
- ・切下げ地K1、K2の一部で「その他」の植物群落が占める面積が大きいですが、前年度にヨシ群落が倒れて枯死した箇所が裸地になり、その後に先駆植物が入ってきたものである。今後推移を見守る必要がある。

## ②群落組成調査

- ・切下げ地K1、K2、L、Mにおけるヨシの被度は高かった。
- ・カサスゲやマツカサススキが確認され続けていることは、湿地性環境にヨシが生育する環境が再生できていることを示している。

## ③植生回復調査・ヨシ生育調査

- ・各地区とも経年的な変化は小さく、経年的な成長は顕著ではなかった。
- ・5地区のうち、切下げ地K1、K2が比較的、草丈、茎径ともに大きかったものの、草丈の平均値は2.5m～3m程度、茎径の平均値は6mm～9mm程度であった。



ご静聴ありがとうございました